



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もT・TAKメンバー同、頑張って地域医療連携に取り組んで参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 新春号 5階病棟(診療体制)を紹介します！

新年早々お忙しいところありがとうございます。

Q：お忙しいところ申し訳ございませんが、  
はじめにスタッフの紹介をお願いします。

病棟スタッフの紹介をします。

やさしくて冷静、おまけにパソコンが得意な師長、物静かで頼れる主任、20～50歳台と幅広い年齢層で元気いっぱいの看護師17名と看護助手2名です。みんな明るく、ステーション内での声が大きいのが玉に瑕ですが、いい雰囲気楽しく仕事をしています。時には、言いたいことを言い合い、外から見るとビックリされることもあるようですが、それは仲がいいからで、患者さんにより良い看護を提供できるようにディスカッションしているんです。



Q：5階病棟の特色を紹介してください。

病床数は50床。主には内科ですが、皮膚科や眼科の患者さんも入院され、当院の皮膚科は入院治療の出来る数少ない医療機関の一つで、重症の皮膚アレルギー、自己免疫性水疱症、帯状疱疹、皮膚腫瘍、糖尿病性足病変などの方が入院の上、治療しておられます。皮膚科森田医師はやさしいと評判で、重症の皮膚疾患を次々と治癒に導き、患者様の信頼は絶大です。



内科では、胃や腸などの消化器疾患、糖尿病肺炎、脳梗塞の方など、さまざまな疾患の患者さんがいらっしゃいます。また、当病棟では糖尿病学習入院を受け入れています。

---

---

糖尿病学習入院は2泊3日と2週間のコースがあり、入院して糖尿病についていろいろな学習をしていただいています。内科医師をはじめ、糖尿病療養指導士、管理栄養士、薬剤師、理学療法士などが食事療法、薬物療法、運動療法についてわかりやすく丁寧に指導を行っています。

また、患者さんの急変時でのシミュレーションを、ICLS インストラクター\*の資格を持つスタッフが、2年目以上のスタッフを対象に実施しています。急変時に遭遇したとき何が起きているか判断し対応できるよう、数種類の場面を設定し行っています。急変は遭遇しないと慣れないですし、対応もわからないものです。また1人で対応できないものもあり、スタッフが連携しチームで蘇生を行う認識が必要ですので、こういったトレーニングは大切だと思っています。

---

---

**Q：患者様に対して何時も心掛けていること(モットー)を紹介していただけませんか？**

病棟理念として、「常に患者様にとってのベストを考え、安心して快適に過ごせる病棟をめざします」を掲げています。患者様に本当に必要なことは何かを常に考え、スタッフみんなで話し合い、看護できるように心がけています。

また、「スタッフ自身が看護(仕事)を楽しむ」ということも大切にしています。これを意識することで病棟全体が雰囲気よく保てると考えています。

その一環として、入院された患者様方に、病院の中においても季節を感じていただけるように、月々さまざまな飾り付けを工夫しています。毎回力作を飾っていますので、機会があれば是非見に来てください。



**今年度の目標は**

1. スタッフ間の情報の共有・連携を図り、個別性のある看護ケアを実践できる
2. 患者様に安全・安心な看護を提供できる
3. 患者様が気持ちよく過ごせる環境を整える

の3項目を挙げて、日々取り組んでいます。特に1.については「申し送り短縮とカンファレンスの充実」をすることでこれにつながられればと頑張っています。

---

---

\*ICLS（：Immediate Cardiac Life Support）とは、間髪入れずに行う救急救命処置のことで、ICLS インストラクターは日本救急医学会が行っているICLSコースを受講しインストラクターとしての資格を取った者のことです。ICLSコースは突然の心肺停止に対する最初の10分間のチーム蘇生に重点を絞った内容です。

---

---

新春に相応しい想いをお話いただき

本当にありがとうございました。

今年もこれまで以上に連携を密に行っていきたいと思っております。

次回のT・TAK新聞は6階病棟を紹介します。お楽しみに！

T・TAK新聞のバックナンバーは、「IHI 播磨病院ホームページ」

<http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。

どしどし、アクセスしてみてくださいね。

by：E.Y

